

28日（夕）

（聖句／哀歌3章28、29節）

主がこれを負わせられるとき、
ひとりすわって黙しているがよい。
口をちりにつけよ、
あるいはなお望みがあるであろう。

（祈り）

聖なる父よ、
あなたは人間をすぐれた方法でお造りになりましたが、
さらにすぐれた方法で贖ってくださいました。
わたしたちが力を尽くし誘惑と戦い、
永遠の喜びに入ることができるよう導いてください。
わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

（詩編127編）

主御自身が建ててくださるのでなければ
家を建てる人の労苦はむなし。
主御自身が守ってくださるのでなければ
町を守る人が目覚めているのもむなし。
朝早く起き、夜おそく休み
焦慮してパンを食べる人よ
それは、むなしなことではないか
主は愛する者に眠りをお与えになるのだから。
見よ、子らは主からいただく嗣業。
胎の実りは報い。
若くて生んだ子らは、勇士の手の中の矢。
いかに幸いなことか
矢筒をこの矢で満たす人は。
町の門で敵と論争するときも
恥をこうむることはない。

（主の祈り）

天にまします我らの父よ、願わくはみ名を崇めさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪を犯す者を我らが赦すごとく、我らの罪をも赦したまえ。
我らを試みにあわせず、悪より救い出したまえ。
国と力と栄えとは、限りなく汝のものなればなり。アーメン